

きらきら ひかる 展

世界の
輝く宝もの。

記念講演会

「せー ふあ う たき齋場御嶽まが たまの金の勾玉」

世界文化遺産・齋場御嶽から出土した金の勾玉。
発掘担当者が調査当時の様子や、きこえ おおきみ聞得大君の就任儀礼
おあらお「御新下り」についてお話しします。

日時：9月23日（日）
受付 13：30 / 講演 14：00～16：00
場所：美術館講堂
講師：大城 秀子 氏
（沖縄国際大学南島文化研究所特別研究員）
申込：不要
* 聴講には「きらきらひかる展の観覧券」が必要です。
観覧：一般 ¥800（600）・大学生 ¥600（400）
高校生以下は無料

* 障がい者手帳（精神障害者福祉手帳・療養手帳）を
お持ちの方と介助者1人まで観覧無料
* 65歳以上・モノレール1日乗車券利用者は団体料金
*（ ）は20名以上の団体料金



大城 秀子 氏 Hideko O-shiro

沖縄国際大学南島文化研究所特別研究員
元南城市教育委員会文化課課長

専門分野 / 考古学
長年文化財保護行政に
携わり、文化財調査や
史跡整備（齋場御嶽や
知念城跡）を担当。
観光・文化振興と歴史
文化を結ぶ活動を通して
文化財の活用と保護を行う。



齋場御嶽 三庫理



勾玉と金製厭勝銭



齋場御嶽出土品



琉球や日本、様々な国や地域のきらめく宝ものをご紹介します。

2018 9.14 金 ▶ 10.28 日

平成30年度 第1期常設展 『発見！アジアの漆ワールド展』 関連講座

「タイやベトナムの漆器とくらし」

講師：宮里 正子（浦添市美術館館長）
日時：9月29日（土） 14時～16時
場所：常設展示室 ※要常設展観覧料

タイでは、北部のチェンマイ付近で竹を素地にした漆器が、バンコク郊外では伝統的なヤコウガイの螺鈿細工を作っています。ベトナムは、伝統的な漆器とフランス植民地時代に定着した漆絵が脈々と受け継がれています。今も人々の暮らしに寄り添って息づく「タイやベトナムの漆文化」を、漆器や生活風景の写真で紹介しします。

琉球漆芸とアートに出会う

浦添市美術館

URASOE ART MUSEUM

住所 | 〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1-9-2
開館 | 9：30～17：00（金曜日9：30～19：00）
休館 | 月曜日 ※9/17・9/24・10/8は開館
※最終入館は閉館30分前まで
電話 | 098・879・3219

